

# CSR

Corporate Social Responsibility

「企業の社会的責任」

株式会社オオキ CSRレポート／76・77期 Vol.2

我々が扱う包装資材は、素材・品質・デザイン・内容表示によって売れ行きに影響を与える中身の実効性を持ちながら、残念なことに使用後は“ゴミ”になってしまいます。

特に石化原料を主原料にしている多くの包装資材は、環境問題とは常に向き合うと共に、安全・安心・健康といった面での社会的要求を満たす事を求められます。

包装資材業としてSDGsの掲げる持続可能な開発目標を達成するため、更には従来進めてきた「エコアクション21」認定取得企業として、環境(Environment)や社会(Social)への配慮と、企業統治(Governance)の向上を重視した環境経営推進のためにも、「包装資材とSDGs」、「社会生活とSDGs」による株式会社オオキSDGs活動宣言を真剣に取り組むために、新たな「オオキの未来志向」を掲げ、日々実践の集約をCSRレポートにまとめて社内外に発信して参ります。

これらを推し進める会社と社員の行動基準は「環境を価値に、社会課題の解決に迫る行動力が革新を生む」として、具体的な挑戦目標を新たに「オオキの未来志向」としました。



OHKI SUSTAINABLE ACTION



# 目次

表紙（あいさつ）	1
目次	2
事業概要	3
社員の輪	4～5
環境対応の歩み	6～7
会社案内	8～9
オオキ SDGs 活動宣言	10～11
エコアクション21への取り組み	12～16
オオキの強み 情報収集と発信	17
社会貢献	18
環境保全	19
物流効率化	20
食品ロスの削除	21
働き方改革	22
社員一人ひとりが進める SDGs 活動	23
包装資材と SDGs	24
環境対応商品ガイド発行	25
オオキの未来志向	26
プラスチック包装資材の有用性	27
包装資材の資源循環とリサイクル先	28～29
環境配慮素材のご紹介	30～31
社会生活と SDGs	32
家庭の食品トレーの回収	33
SDGsの社内啓発	34
SDGsの社内啓発（川柳）	35
環境保全活動の推進	36
太陽光発電とLED化の推進	37
幸せデザインサーベイ&ワークショップ	38
安全衛生委員会の取り組み	39
パッケージフェアでSDGsの取り組みを紹介	40
富士山クリーン作戦に参加	41
リサイクル施設の視察	42
甲府市社会福祉協議会から感謝状	43
山梨SDGsフォーラムに出展	44
SDGsまなび館で常設展示	45
ループリサイクルで再利用	46
経営者による見直し・次年度に繋がる活動（テーマ）	47

## 事業概要

事業者名 株式会社 オオキ  
代表者 代表取締役社長 大木 賢太郎  
設立 1947年4月1日  
資本金 1,500万円  
従業員数 70名  
敷地面積 本部及びパッケージプラザ田富店 3801.45㎡  
所在地 中央店 222.43㎡ 市場店 240.9㎡  
本部・パッケージプラザ田富店  
〒409-3845  
山梨県中央市山之神流通団地1丁目3番2号  
電話 055-273-6644 (大代表)  
FAX 055-273-1248  
市場店  
〒400-0043  
山梨県甲府市国母6丁目6番4号  
電話 055-228-1663  
FAX 055-228-1662  
パッケージプラザ中央店  
〒400-0032  
山梨県甲府市中央2丁目12番10号  
電話 055-233-0221

## 事業内容

- 包装資材・包装機械・事務機器・物流機器・省力化自動機器の設計・製作及び販売
- 包装資材の加工
- 海外商品の輸入及び販売
- 衛生環境維持のためのメンテナンスツール販売
- 穀物・野菜などの加工品の販売

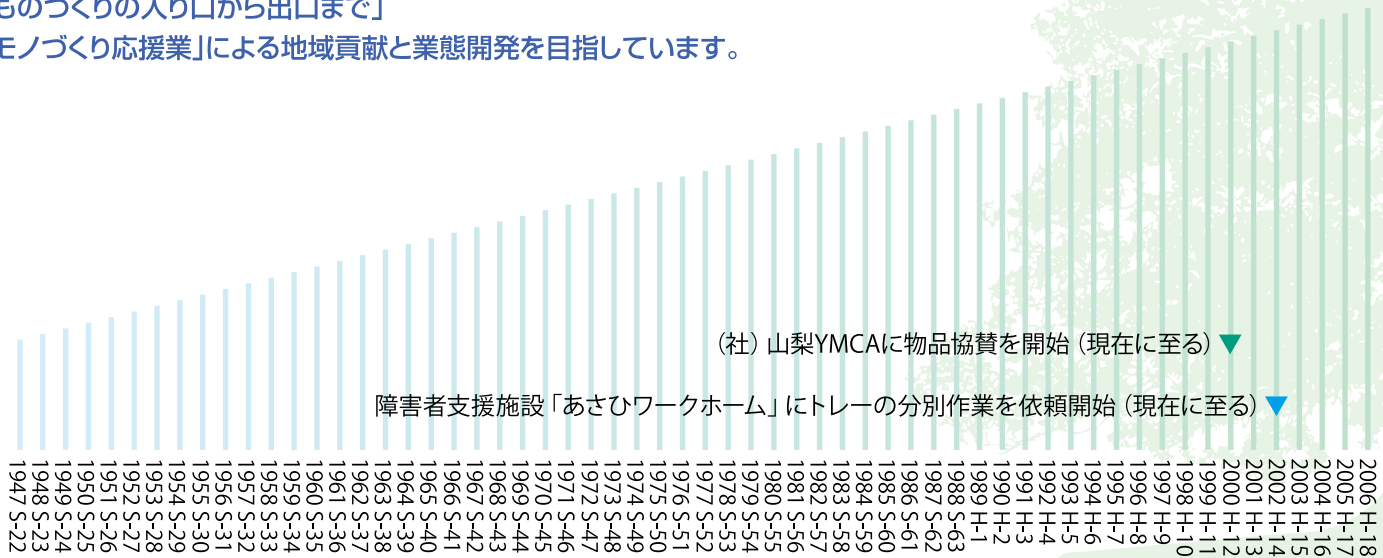






## 環境対応の歩み

包装資材を天職として、いかなる時、いかなる場所、いかなる状況においても、常にお客様の感動・感激を中心に、安全で、清潔で、新鮮で、便利で、安価で、スマートで、環境にやさしい包装資材をお客様の都合に合わせて提供する。更に、従来より培った技術や関連事業に新たな情報を付加し、  
**「ものづくりの入り口から出口まで」というコンセプトを基に、環境対応や、安全性、そして衛生性をも含めたマクロ的視点での企業活動を具体的に進め、**  
**「ものづくりの入り口から出口まで」**  
**「モノづくり応援業」による地域貢献と業態開発を目指しています。**



## 経営計画の歩み

1947  
紙類の小売業を開店

1954  
八日町に  
移転有限会社大木紙店設立



1974  
株式会社オオキに  
組織変更

1987  
クリーン&フレッシュ  
「レモンズ」を開設。

1997



## 社会の動き

1960年代 高度経済成長

1980年代 エレクトロニクス技術の進展

1990年代 環境対応への意識高まる

2000年 バブル崩壊

## 会社の歩み



創業者 大木賢次

1967年第2回  
パッケージフェア  
開催、現在まで継続



1977年  
山梨県流通団地に移転



1978年～1988年中華人民共和国黒龍江省伊春市に日中友好割箸工場開設

私たちの使命は、お客様と共に考え「環境価値の提供」をしていく事です。



## OEI 企画室とは

**OEI 企画室 基本理念**

現在の大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済システムは、絶対に持続可能な社会を実現していきませんが、一方で資源環境のバランスを崩し、世界規模での取り組みが必要とされています。当社は、お客様と共に持続可能な社会を実現していく中で環境問題とは真に向き合っていかなければならず、エコアクション21 環境経営システムを積極的に運用し、環境活動レポートによる情報開示を行いつつ、環境経営の刷新・推進を推進し、社会と環境に対し「環境価値の提供」を実現するために活動を行います。

**株式会社オオキ 環境に関する言葉**

「環境対応商品を通してお客様に「価値」の提供、をするために3つのキーワードを元に商品開発の取組を行います。

- 原料は、自然環境への負荷を最小限に抑える。
- 製造工程は、環境保全に取り組み、もしくは取り組む必要がある。
- 製品は、環境負荷削減につながるキーワードを持っている。

私達の使命は、環境に関する情報の収集と発信を行いながらお客様と共に考え「環境価値の提供」をしていく事です。

AN OFFER OF ENVIRONMENTAL VALUE  
「環境価値の提供」



- 11月 環境対応室は『OEI 企画室』に組織変
- 7月 エコアクション21の認定・取得
- 6月 環境対応室を立ち上げ

2007 H-19  
2008 H-20  
2009 H-21  
2010 H-22  
2011 H-23  
2012 H-24  
2013 H-25  
2014 H-26  
2015 H-27  
2016 H-28  
2017 H-29  
2018 H-30  
2019 R-1  
2020 R-2  
2021 R-3  
2022 R-4  
2023 R-5

- 1月 オオキ社内活動として食品トレー回収開始
- 1月 オオキ環境対応商品ガイド発刊
- 4月 やまなしSDGs推進企業に登録

- 7月 環境開発室とSDGs推進隊を立ち上げ
- 7月 SDGs活動宣言を発表
- 障害者就労支援施設に梱包や箱折などの作業を積極的に発注

2019年7月「モノづくり応援誌」発行開始（2021年6月まで継続）

エコアクション21認定取得



4月 環境活動優秀企業として表彰授与

- 7月「4(フォー)エントランスシーズ」を立ち上げ
- フードバンク山梨へ協賛の寄付スタート



株式会社オオキ 創業50周年 ものづくり応援業

「モノづくりの入口から出口まで」  
企業理念推進スタート

2017年 創業70周年  
新たな歴史創造

2022年 創業75周年  
ものづくり応援業

企業理念

店は客のためにあり社員と共に栄える



喜同しお祝いしお祝い

デジタル化・ネットワーク化

AIの発展

2020年1月  
新型コロナウイルス感染症発生 COVID-19



2022年創業75周年

## 株式会社オオキ品質方針

**安全** **安心** **健康** をコンセプトに  
 「ものづくりの入り口から出口まで」の価値を創造し  
 「感謝と奉仕」のステークホルダー経営をめざします。

私どもの天職である包装資材は、常にお客さまの商品と一体となり、いかなる時／場所／状況においても安全／清潔／新鮮／便利／安価／スマートでなくてはなりません。

社会に対しては常に「感謝と奉仕」という誠実で真摯な態度で臨み、人にやさしく地球環境にやさしい「ものづくりの入り口から出口まで」のマクロ的視点でお客さまの「ものづくり」を支援し、社会貢献していくことです。そしてすべての人の価値と幸福を創造していくことをめざします。



かわせみ(翡翠・学名Alcedo atthis)は  
 英名(Common Kingfisherキングオブフィッシャー)といわれ  
 魚獲りの王であり名人です。  
 この動きの俊敏さ正確さは我が社の行動の基本です。  
 オオキは「かわせみ」を社のシンボルとしています。

株式会社オオキ  
**品質方針**



お客様の品質についての要求を充分理解し、  
 実行し、お客様の満足を越える感動を提供する。

その実践を通じステークホルダー  
 経営をめざします。



山梨から未来をつくる

**FutureClub**



## パッケージで包む素材は限りなく環境にやさしく

㈱オオキはエコアクション21 認証取得企業として環境経営を進めます。  
食品ロスの削減に資する高機能包装資材の情報収集とその広報活動及びお客様の訴求に積極的に取り組んでまいります。



**OHKI ECO STYLE**

オオキから発信する、企画や商品に付けられるマーク

### エコなモノづくり応援

私たちの使命は、お客様と共に考え『環境価値の提供』をしていく事です。



**エコアクション21  
認定取得**

## あらゆるパッケージ提案と提供

オオキでは食品パッケージから工業用包材・化粧箱・シール・ラベルや包装紙、食品容器など、各種幅広く包装資材を提供しております。「包む」ことへのこだわりがお客様の商品づくりへのご提案に結びつくと考えています。また、環境に配慮した優れた衛生安全性を併せもつ素材・製品材料を採用し、環境や社会に貢献できる営業活動をめざしています。

## 包装用品／販促用品／文具用品

パッケージプラザでは、幅広い包装梱包資材から販促用品、事務用品、おつきあい商品を取り揃え店舗用品のコンビニエンスとしてお客様のニーズに応じた販売、提案を行っています。

## 環境用品

レモンズでは「健康で安全」をテーマにオフィスや公共のエコ＆クリーンな環境のお手伝いしています。

## 生産設備施設の設計施工管理

生産性の高い生産ラインの設計施工から施設の企画開発やメンテナンスを行います。

## 素材・自然環境の安全検査

「健康で安全」な素材を安定的に供給するため、空気／土質／水質／気候などの環境条件を調査。常に最良の状態を維持できるような提案とメンテナンスいたします。



# 環境を価値に社会課題の解決に迫る 行動力が革新を生む

株式会社オオキと社員は包装資材業としてSDGs(持続可能な開発目標)の達成のために、会社と個々社員が明確に目的を持ち活動する年で持続可能な社会の実現に貢献します。

株式会社オオキは、「包装資材業者」として、「SDGs」の達成へ貢献するために「エコアクション21(環境経営)」を通して、環境(E)や社会(S)への配慮、(企業統治の向上(G))を重視した企業活動、企業価値の拡大を行います。

## CSRレポートの作成(可視化)

「ESG」とは

**環境(Environment)**

- ・Co2排出量の削減
- ・廃水による水質汚染の改善
- ・海洋中のマイクロプラスチック対策
- ・再生エネルギーの使用
- ・生物多様性の確保

**社会(Social)**

- ・適正な労働条件
- ・男女平等など職場の人権対策(可視化)
- ・ダイバーシティ(多様性)
- ・ワークライフバランス(仕事と生活の調和)
- ・児童労働問題
- ・地域社会への貢献

**ガバナンス(Governance)**

- ・業績悪化に直結するような不祥事の回避
- ・リスク管理のための情報開示
- ・法令順守
- ・資本効率に対する意識の高さ

※環境経営レポートの公開により、組織の取組みを広く周知(企業価値のアピール)

(可視化)



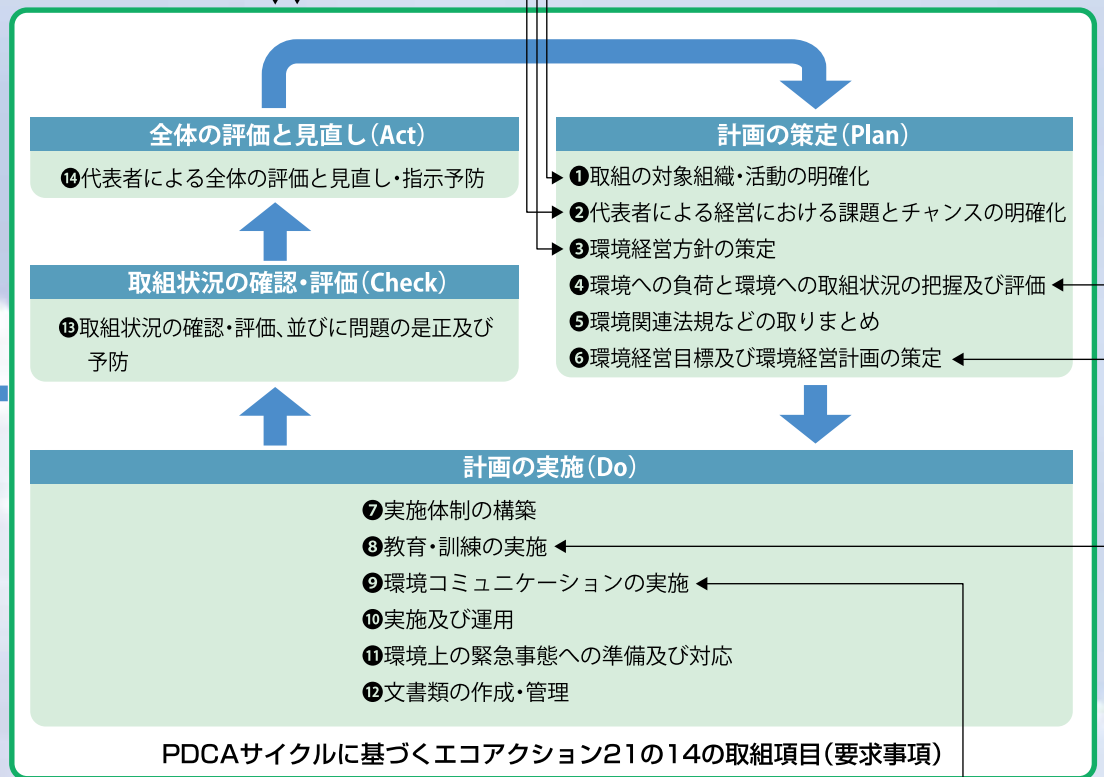
※組織として取組んだ結果や成果を可視化(継続的改善につながる)

① 当社事業の明確化

※マネジメントシステムの運用が経営力、組織力の向上につながる(PDCAを回して継続的改善)

② SDGsも経営の課題とチャンスと捉える  
75期経営方針に掲示

③ 環境経営方針にSDGsの周知・普及に努める旨について明記することも一案



※PDCAを回して継続的改善を行い企業価値を向上(経済成長)

⑨ エコアクション21計数管理の進捗状況の報告と啓蒙活動推進  
・ホームページを通じての外部発信

(Do) 自社内だけでなく、顧客、協力会社、地域社会、家庭を考慮した活動を行う

## (株)オオキの未来志向 (包装資材とSDGs)

## (株)オオキ社員の未来志向 (社会生活とSDGs)

株式会社オオキは包装資材の近未来について真剣に取り組めます。

- ① 廃プラ・海洋プラのごみ問題についての情報発信
- ② 4R(リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル)の推進
- ③ プラスチック食品容器の機能と役割について情報発信
- ④ 高機能包装資材の販売促進
- ⑤ ライフスタイルの変化・食の変化に最適な容器提案

持続可能な社会のため、  
従来の生活を見直します。

### エコアクション21

#### 計数管理

- ④ 環境負荷の把握
  - ・二酸化炭素排出量
  - ・廃棄物排出量
  - ・水使用量
  - ・化学物質使用量

(①～⑤を考慮した)

- ⑥ 環境目標の設定
  - ・二酸化炭素排出量の削減
  - ・廃棄物排出量の削減
  - ・水使用量の削減
  - ・化学物質使用量の削減

・自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善(機能性包装資材情報収集, SNSによる情報発信など)

⑦ 効果的で必要十分な実施体制の構築

- ・全従業員がエコアクション21(環境経営)の実施体制及び自らの役割を理解する

⑧ 全従業員を対象とした教育・訓練  
・加えて、環境に関する特定の業務がある場合は、特定教育・訓練



- ・トレー回収と適正なリサイクルの推進及び情報の発信
- ・バイオマスプラスチック商品の販売促進



- ・プラスチック容器包材の有用性のアピール
- ・使用用途に応じた高機能包装資材の販売促進



- ・河川清掃・構内清掃・環境活動の実施と社外へのアピール
- ・エコカーの推進による、化石燃料の使用量削減



- ・新食品表示法完全実施
- ・HACCPの情報発信とサポート
- ・機能性包装資材の収集と販売
- ・食品衛生法改正に伴うポジティブリストの情報収集と内容開示



- ・トレー回収と適正なリサイクルの推進及び情報の発信
- ・河川清掃・構内清掃・環境活動の実施と社外へのアピール



- ・トレー回収と適正なリサイクルの推進及び情報の発信
- ・木質製品の販売促進

## ■環境経営方針

### 基本理念

株式会社オオキは、会社の発展と環境保全の相互追及を基本理念とし、社員一人ひとりが常に環境のあり方に目を向け、環境との調和を目指します。

### 基本方針

#### ● 環境との共存

環境との共存を図るため、環境活動を実践し継続的改善を図ります。

#### ● 環境に配慮した活動の推進

環境目標及び環境活動計画を策定し次の事項に取り組みます。

- ① 環境にやさしい製品の開発と販売の促進
- ② 電力エネルギーの節約
- ③ エコドライブの推進
- ④ 紙類のリサイクルと節約
- ⑤ 水道水の節約

#### ● 地域における環境保全活動の推進

- ① 社屋周辺付近の清掃活動を実施します。
- ② 河川・緑地の保護を実践します。

#### ● 環境教育の推進

環境に対する正しい知識を習得するために積極的に研修会に参加します。  
また、社内においても研修会を開催いたします。

#### ● 環境関連法例の遵守

環境関連法例及び当社が同意した要求事項を遵守し環境保全に努めます。

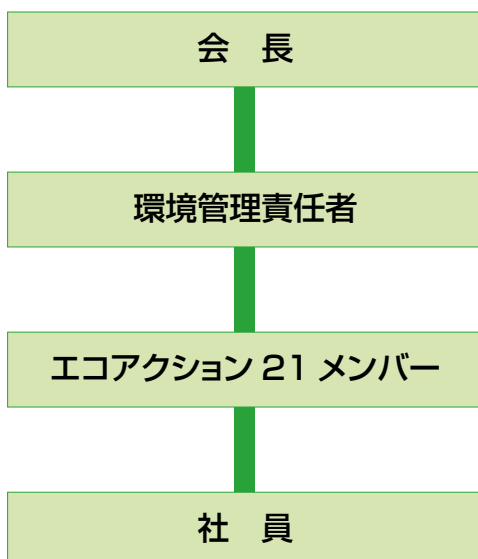
#### ● 環境方針の公表

この環境方針は、全社員に周知し、社外にも公表します。

2017年7月1日

株式会社 オオキ 代表取締役会長 大木 勝志

## ■実施体制



#### ① 会長（代表者）

環境経営方針を策定し、全社員に周知させると共に環境への取り組みを適切に実行するための資源の提供を行う。また、環境管理責任者を任命し、エコアクション21会議において環境マネジメントシステムの見直しを行う。

#### ② 環境管理責任者

代表者に代わってガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・運用に責任を持つと共に必要な権限を持つ、またその状況を会長に報告する義務を負う。

#### ③ エコアクション21メンバー

環境管理責任者を補佐し、環境目標、環境活動計画を策定し社内に周知させ環境経営方針の指導展開を行う。活動の実施結果は環境管理責任者に報告する義務を負う。

#### ④ 社員

環境方針及び目標の達成に向けて環境活動計画を基に実務業務を遂行すると共に所定の報告、緊急時の報告義務を負う。

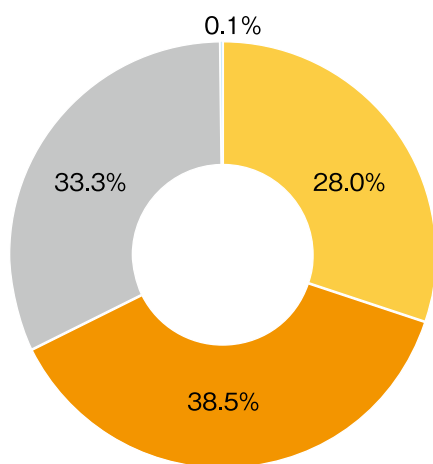
## ■環境経営目標

目標項目	実施事項	
環境に配慮した活動の推進]		
(本業に関する目標)	①環境にやさしい製品の開発と販売の促進	高機能な包装資材の情報収集とその広報活動の実施
(二酸化炭素排出量削減)	②電気エネルギーの節約	電力使用量削減
	③エコドライブの推進	社用車1台あたりのガソリン使用量削減
		社用車1台あたりの軽油使用量削減
	(LPG)	(使用量維持)
(廃棄物排出量削減)	④紙類のリサイクルと節約	コピー用紙使用量削減
総排水量削減)	⑤水道水の節約	使用量削減
【地域における環境保全活動の推進】		
(社会貢献)	①社屋周辺の清掃活動の実施	月一回実施
	②河川清掃の実施年三回実施	年三回実施

(目標期間:2020.7.1~2023.6.30)

環境経営方針を実現するために、「環境に配慮した活動の推進」と「地域における環境保全活動の推進」それぞれのテーマに沿った環境経営目標(目標項目、実施事項)を設定して、活動をおこなっています。

## ■二酸化炭素発生源の構成



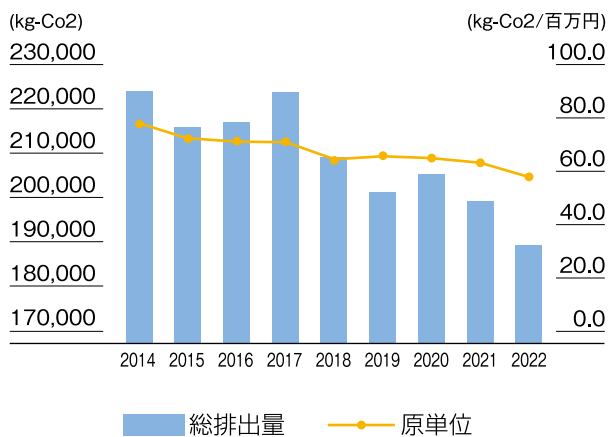
二酸化炭素発生源の構成表

項目	割合
電力	28.0%
ガソリン	38.5%
軽油	33.3%
LPG	0.1%

(対象期間:2020.7.1~2023.6.30)

化石燃料(ガソリン、軽油)が約7割を占めており、電力が約3割となっています。ガソリンは主に営業用車両での使用、軽油は主に運搬用車両での使用であり、電力は主に事務所、倉庫および店舗となっています。※LPGは給湯用のみ

## ■二酸化炭素の総排出量と原単位 (総排出量/売上) Co2



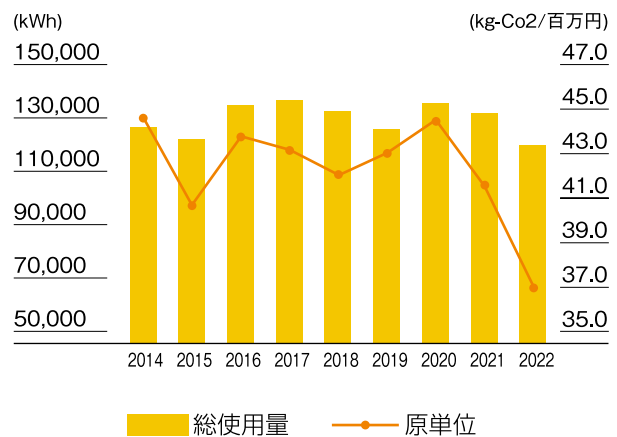
年度	総排出量 (kg-Co2)	原単位 (kg-Co2/百万円)
2014	224,370	79.8
2015	215,969	72.6
2016	217,389	70.6
2017	223,906	70.2
2018	209,517	66.6
2019	201,710	68.6
2020	205,556	66.8
2021	199,693	62.9
2022	189,334	58.2

(対象期間:2014.7.1~2023.6.30)

二酸化炭素の排出量は、業績が好調であった2017年度の総排出量を除き、総排出量、原単位ともに着実に削減が進んでおり、エコアクション21への取り組みの成果が結果として表れています。



## ■電力の総使用量と原単位 (総使用量/売上)



年度	総使用量 (kWh)	原単位 (kg-Co2/百万円)
2014	126,554	45.0
2015	120,988	40.7
2016	133,622	43.4
2017	136,267	42.7
2018	131,878	41.9
2019	126,423	43.0
2020	136,959	44.5
2021	131,432	41.4
2022	120,378	37.0

(対象期間:2014.7.1~2023.6.30)

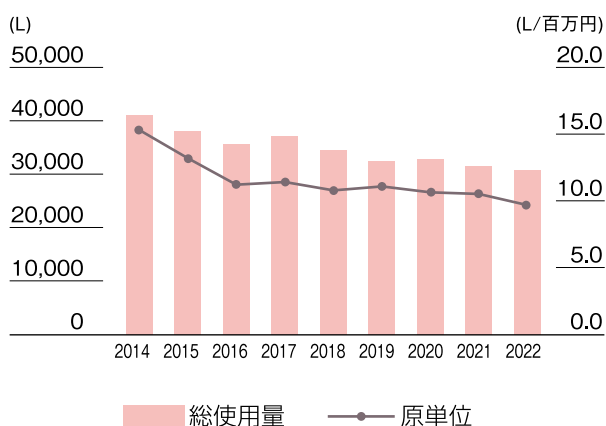
電力使用量は、節電の啓蒙やエアコンのフィルター清掃、省エネ機器への更新などの環境活動により、2021年度以降総使用量、原単位ともに削減に成功しています。

### 電力に係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進/二酸化炭素排出量削減
目標	電気エネルギーの節約/電力消費量削減
活動の計画	①エアコン類について 室内温度の調整を徹底します。 (夏季28℃、冬季22℃の設定) ②室内灯について 昼時間の留守中の消灯ルールを決める。 ③パソコン類について:OA機器買い替え時期には省エネ製品への切り替えを検討する。

(対象期間:2020.7.1~2023.6.30)

## ■ガソリンの総使用量と原単位 (総使用量/売上)



年度	総使用量 (L)	原単位 (L/百万円)
2014	41,349	14.7
2015	38,036	12.8
2016	34,569	11.2
2017	37,684	11.8
2018	34,380	10.9
2019	33,257	11.3
2020	33,533	10.9
2021	32,838	10.3
2022	31,434	9.7

(対象期間:2014.7.1~2023.6.30)

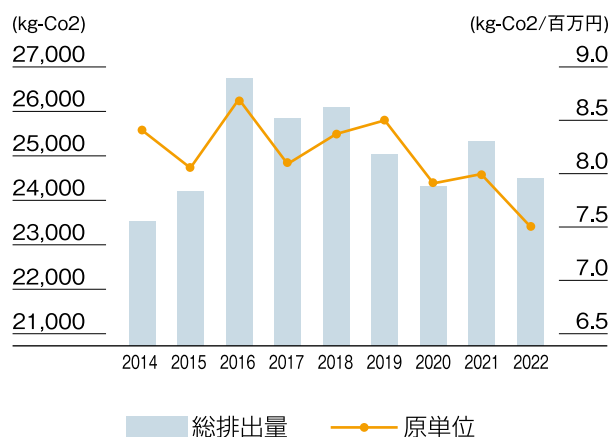
ガソリンの使用量は総使用量、原単位ともに着実に削減が進んでおり、エコドライブの徹底や車両の入れ替え計画の実施など、環境活動への取り組みの成果が結果として表れています。

### ガソリンに係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進/二酸化炭素排出量削減
目標	エコドライブの推進/社用車1台あたりのガソリン使用量削減
活動の計画	①エコドライブ10箇条の提示によるエコドライブ意識の徹底 ②車輛の見直し、入れ替え計画・実施 ③自社物流量の増加、自社物流増による目標・計画数値見直し検討の必要あり。

(対象期間:2020.7.1~2023.6.30)

## ■軽油の総使用量と原単位 (総使用量/売上)



年度	総使用量 (L)	原単位 (L/百万円)
2014	23,533	8.4
2015	24,176	8.1
2016	26,755	8.7
2017	25,896	8.1
2018	26,072	8.3
2019	25,004	8.5
2020	24,389	7.9
2021	25,342	8.0
2022	24,446	7.5

(対象期間:2014.7.1~2023.6.30)

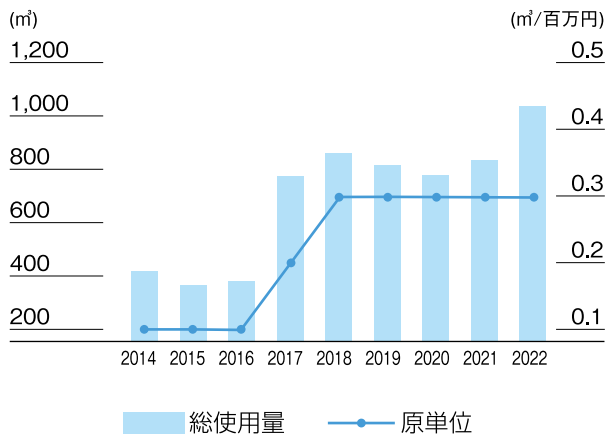
軽油の使用量は、配送量の一時的増加により2021年度は使用量が増加したものの、エコドライブの徹底や計画的な車両の入れ替えなどの環境活動により、削減に成功しています。

### 軽油に係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進/二酸化炭素排出量削減
目標	エコドライブの推進/社用車1台あたりの軽油使用量削減
活動の計画	①エコドライブ10箇条の提示によるエコドライブ意識の徹底 ②車輛の見直し、入れ替え計画・実施 ③自社物流量の増加、自社物流増による目標・計画数値見直し検討の必要あり。

(対象期間:2020.7.1~2023.6.30)

## ■水の総使用量と原単位 (総使用量／売上)

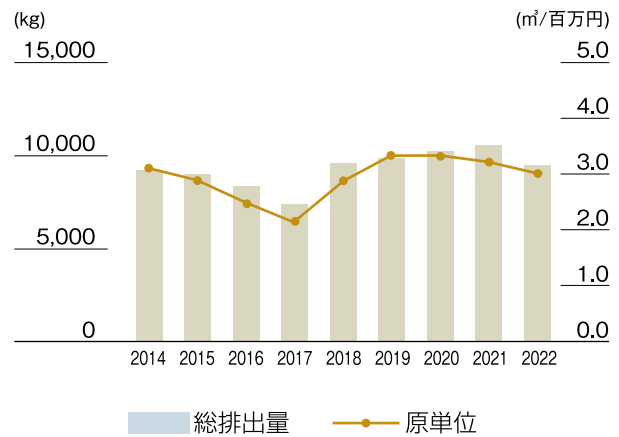


年度	総使用量 (m³)	原単位 (m³/百万円)
2014	409	0.1
2015	381	0.1
2016	394	0.1
2017	787	0.2
2018	857	0.3
2019	808	0.3
2020	786	0.3
2021	825	0.3
2022	11,09	0.3

(対象期間:2014.7.1~2023.6.30)

2022年度は本社及び本社倉庫にて大規模な漏水が発生した結果、使用量は増加となりました。但し修理は完了しているため、2023年度以降は回復見込みです。(2017年度より中央店も集計対象としている)

## ■一般廃棄物の総排出量と原単位 (総排出量／売上)



年度	総排出量 (kg)	原単位 (kg/百万円)
2014	8,750	3.1
2015	8,640	2.9
2016	7,762	2.5
2017	6,703	2.1
2018	8,956	2.8
2019	9,579	3.3
2020	10,103	3.3
2021	10,133	3.2
2022	9,656	3.0

(対象期間:2014.7.1~2023.6.30)

2017年度以降増加傾向にあるものの、エコアクション21の取り組みにより、ほぼ横ばいにて維持できています。

### 水に係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進／総排水量削減
目標	水道水の節約／使用量削減
活動の計画	①用途別水の使用量を把握し、その削減対策を実施する。但し、生活用水(手洗い用水等)については、蛇口に節水表示等により、節水を励行する。 ②推進POPを作成し社員に呼びかける。

(対象期間:2020.7.1~2021.6.30)

### 一般廃棄物に係わる環境活動内容

目的	環境に配慮した活動の推進／廃棄物排出量削減
目標	紙のリサイクルと節約／廃棄物排出量削減
活動の計画	①コピー用紙の裏面の積極的な活用を行う。(POP等による呼びかけ) ②社内外メール等によるデータ通信の活用促進によりコピー用紙の削減 ③複合機の機能を活用した紙削減(オンラインFAX送信など)

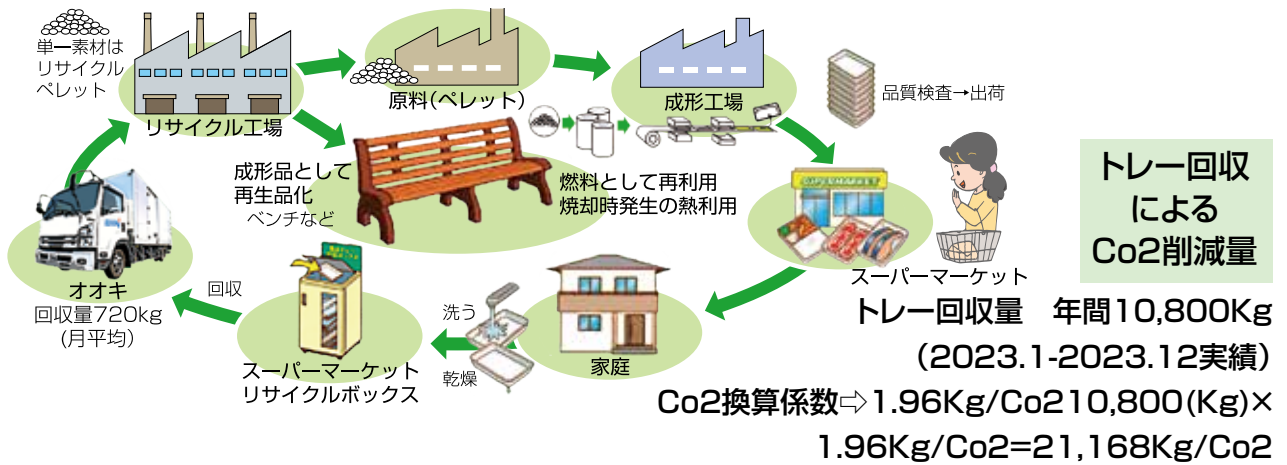
(対象期間:2020.7.1~2023.6.30)



● 4R (リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル) の推進と情報発信

● プラスチック容器回収とリサイクルの推進 ※33 ページ参照

弊社、物流部門による納入先からの使用済食品トレーなどの回収及び社員の家庭より排出されるトレーの回収。



● メーカー様、商社様からの最新情報入手と発信



● ライフスタイルの変化、食の変化について情報発信



● 防災訓練の実施

非常時を想定した、避難訓練や放水訓練を定期的の実施



● 職場体験



地域の小学生を対象とした、職場見学・包装資材の情報発信

● フードバンク山梨への協賛、寄付による貧困支援、食品廃棄の減少

フードバンク山梨の活動に共感し、社内に支援の呼びかけ

受付中の食品



お米      お菓子      インスタント類      防災品      その他



● 構内清掃・河川清掃の実施 ※ 36 ページ参照



● エコアクション21の推進（節電・節水・ペーパーレス化）



● やまなし SDGs 推進企業へ登録 34 ページ参照



● 物流作業の効率化

後補充方式の運用とハンディーによる入出庫業務の改善活動



● トラック輸送の効率化

保有車の円滑な運用



● エコドライブの推進

エコドライブの推進・エコカーの導入などの取り組みを進めています。



● 高機能包装資材の情報収集と販売促進

使ったらゴミになってしまう包装資材をエコ製品へ置き換え



● ライフスタイルの変化、食の変化に最適な容器提案

テイクアウト容器や環境対応素材容器をスピーディーにご提案!



● 中身の開発商品化へのサポート

私たちは現代社会の「**フードロス**」の**解決**に特化した商品開発をしています。

困りごと	提案と開発	商品化に向けた製造プロセスの構築	商品化
<p>フードロスの有効活用 規格外・余剰農作物あらゆる製造 流通段階で発生する食材 の困ったに貢献</p>	<p>オンリーワン商品で 流通させることにより 持続可能な農業</p>	<p>製造工程の細分化の設計や 就労支援の機会が増えるよう 障がいのある方々の仕事に 繋げる試みの実行</p>	<p>一括表示作成・商品コスト 栄養成分値・設計 パッケージ開発 販売までのプロセスをサポート</p>

● 業務の効率化による労働生産性の向上



● 喜ばれる喜びによる喜び



お客様、地域、社会に喜んでいただく  
それぞれのよろこびを自らの喜びとする  
2つの「よろこび」が会社と個人の喜び(発展)  
につながる

オオキ流の働き方改革は、社会と個人が『喜ばれる喜びによる喜び』による歓喜へと繋がるプロセスにおいて、『仕事のやり方を変えて、楽でない仕事を楽しく』です。『楽しく』とは、仕事を通じて自分を磨いている状態の事です。

● 安全衛生委員会の発足

安全衛生委員会とは、オオキで働く人の安全と健康を確保して、快適な職場環境を形成するために組織された委員会の事です。また、安全衛生委員会の目的は、安全衛生管理規定に基づいて「安心して働ける環境をつくる事」です。2023年5月に登録した「目指そう!健康事業所」は、その一環です。

ラップを巻き荷崩れ防止安全対策



○ 水筒置き場/熱中症安全対策



# 社員一人ひとりが進める「SDGs 活動」



食品ロスを減らす(消費期限の近いものを購入する)

エコバッグを使う

節電の為になるべく同じ部屋過ごす

使いきれ分だけの食材を買う。

食品ロスを減らす。

必要以上に買わない。

エアコンの有効活用

電気・水を大切に使う。ゴミの分別をやる。

野菜と果物を無駄にしない。  
食べきれないときは、カゴに入れて保存する

リサイクルのリサイクルを積極的に行う

地域活動へ積極的に参加(する)

買い物より考え、本当に必要な物だけを購入する。  
果物は責任を持って使う。

食材を使い切る。エコバッグを忘れないで持ち帰る

食品ロスをいかに減らすか購入する(リサイクル)  
食品ロス削減

食材の使い切り。食品ロスとゴミの削減

電気や水をムダづかいしない。

再生紙のノート・紙を購入する(継続)

再利用・リサイクルを積極的に行う

節電・節水を心掛ける。

使い切れる分の食材を買う。きちんと食べる

日用品や食料品はフェアトレード認証ラベルがついてるものを購入する。

つくれる野菜は自分でつくる

節電・節水を心掛ける。

ゴミの分別を徹底する

買い物時(スーパー)を使う

父祖から語り受け継いだ田畑山林を守る

安全運転。安全のためにヘルメットを必ず

節電・節水 省エネ行動を意識する。

料理の時に無駄なごみを残さない

節電・節水を心掛ける。資源を大切に使う。

食品ロス削減(買い物前の食材チェック)

電気の無駄使いをしない。使わない時は、  
電源から切れる

食料品・日用品を大切に使う。

献血を続けよう

家庭ゴミの削減とリサイクル

電気・水を大切に

食料品を計画的に購入し消費する。

食品ロスの削減

エコドライブ

フードロスを減らそう。

紙を無駄遣いしない。分別をきちんと捨てる。

家族や周りの人を大切にする

会社・家庭でゴミの分別をする。

スーパーでの事前取り。無駄な食品を買わない努力。

政治、時事ニュースに関心をもち

積極的に発言し、考えを共有する

食べ残し、作り過ぎを減らし、食べ残しを処分する

自分で野菜を育てて食べるようにする

リサイクルの促進。エコドライブ等環境に優しい行動

子供に向けた募金寄付を積極的に行う。

近所への買い物には自転車を使う

自転車通勤

節電、節水の推進

フードロス削減を心がける。

ショッピングサイト食品ロス削減商品を購入する

家庭でのゴミの分別、リサイクルを徹底(おにぎり)

新聞、雑誌の購入も、オンライン版に変える

無駄な買い物をする

ゴミの減量、リサイクルの徹底

ゴミの分別を徹底し、リサイクルセンターに持ち込む

余剰の食品を寄付する。食料のロス削減  
・テレビの買い替えと並行して、CO2削減の貢献

皆が生き生き働く(株)オオキに!!

ゴミを出す量を減らす。住んでいる街への貢献

ゴミの分別 家庭内、会社内、他

# 包装資材とSDGs

「株式会社オオキは、包装資材の近未来について真剣に取り組めます」  
使ったらゴミになってしまう包装資材をエコ製品に置き換え

環境対応推奨商品

## 材料 ・ 原料 ・ 生地 ・ 素材

これらの中の数点をご紹介します。

容器袋

ラベルプリンター

コンテナ他

包材天然素材容器

テープ・シール

衛生用品

カトラリー

機械類

その他

ラベル

厨房設備





素材選びのポイントは、性能とサステナブルをどう両立させるか  
Sustainable=sustain (持続する) と table (可能な)



更新日：2023.11.10

包装資材は天職です。お客様の「ものづくり」をサポートするオオキは環境問題に取り組み、お客様に「環境配慮型アイテム」SDGs (持続可能な開発目標) への取り組みが加速する中、「脱プラ」に象徴されるように、さまざまな業界が「サステナブルな素材」を開発しております。



環境対応商品ガイド作成しました

商品(SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
オレフィン®H袋関連	石油資源の節約、CO2排出量削減を目的として、「バイオレフィン 25H」シリーズ持ち帰り袋をラインアップしました。この商品はバイオプラスチック協会から「バイオマスプラマーク」、日本有機資源協会から「バイオマスマーク」認定を受けています。	12 13 15	
マスターGL	ゼオライト成分をポリエチレン樹脂にブレンドしたゴミ袋です。生活ゴミを焼却する際に排出される有害な排ガスを吸着・固定し、拡散を防止する機能を兼ね備えています。	12 13 15	
フクリアパック (FLタイプ)	適切な森林管理や林産物のトレーサビリティが求められる現在、森林認証制度の必要性が高まっています。森林環境保全に対する取り組みを示すために、FSC森林認証を取得しました。FSC 認証マークが入りました。この FSC 認証マークは、製品に使われている原材料が責任を持って調達されたことを意味します。	13 14 15	
ツッコ® ちり君	この商品は、各家庭からの生活排水をキレイにすることで河川の水質汚染防止にも役立ち、台所の三角コーナー用と排水口用の水切りゴミ袋です。素材はリサイクル率54%まで高めた再生ベツト樹脂繊維によって作られた環境にやさしいエコマーク認定商品です。	12 13 14 15	
アームバッグ	植物由来プラスチック「ポリ乳酸」を10%使用しています。バイオマスマークは、植物由来プラスチック等のバイオマスを利用している製品に与えられるマークです。原材料はすべてポリオレフィン等衛生協議会のPL(ポジティブリスト)に登録されているものを使用しています。	12 13 15	
レフィッシュ	世界一強い物質として、キネスブックにも登録されている「デナトニウム」を配合したレジ袋です。海で廃棄された場合でも、魚が袋を舌で吐き出し、魚と魚を食べる人間を守るレジ袋になります。	12 13 14 15	
紙ストロー	エコな紙素材を採用し、衛生基準を満たしており安全にご利用いただけます。	12 13 15	
PLA ストロー	植物由来のポリ乳酸を原料にした環境に配慮したストロー。石油資源の消費を減らすことができ、焼却時に発生する二酸化炭素は、植物の発生時に吸収する量と同じ位なので地球環境への負担が少ないのが特徴です。	12 13 15	
リサイクルPET カップ	リサイクルPETを40%使用しています。R-PETは生産から廃棄までのCO2排出量を、通常品に比べて25%削減することができます。	12 13 14 15	
曲がるペーパーストロー	従来のプラスチック素材に代わり、紙で作られたストローになります。独自の切り込みを入れることにより、曲げて使用していただく事が可能になります。	2 12	
マフカ	マフカは主原料である紙パウダーを含有したエコ素材で、カトラリー製品の焼却まで考えると、石化資源を半減(減プラ)できるだけでなく、CO2排出量を大幅に削減することが出来ます。紙51%+PP49%のベレット使用で、可燃ゴミとして廃棄が可能です。	9 11 12 13 15	
や社会に配慮した製品。		12 13 15	
植物油インキ	印刷インキは植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。	12 13 15	
カカオミックス紙	チョコレートを製造する際に生じる「カカオ豆の皮」を紙の原料に配合しています。紙の原料となる森林資源の節約につながる環境にやさしい紙です。	12 13 15	
パームヤシックス	植物油のなかで世界一の生産量を誇るパーム油を製造した後に捨てられていた「ヤシカサ」をバリエーション化し、紙の原料に配合しました。紙の原料である森林資源を節約できます。	12 13 15	

# オオキの未来志向

株式会社オオキは本業である包装資材と持続可能な開発目標であるSDGsについて真剣に取り組みます。



① 環境対応商品の提案と販売促進



② プラスチック製食品容器・包装資材の有用性について情報発信



③ 4R(リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル)の推進と情報発信



④ ライフスタイルの変化・食の変化に対応した包装資材の検索と提案



⑤ 4温度帯に適した、包装資材の販売促進



⑥ 社会課題の解決に取り組み地域社会へ貢献

## SDGsとは

2015年9月に国連加盟193カ国によって採択された「持続可能な開発目標」です。すべての人たちにとってより良い世界を目指すための2030年までの行動計画として、17の目標と169のターゲットから構成され「誰ひとり取り残さない(no one will be left behind)」ことを誓っています。

オオキは、包装資材業として環境問題に取り組み、お客様に「環境配慮型アイテム」の提案とプラスチック食品容器の正しい情報を発信していきます。  
“環境を価値に社会課題の解決に迫る行動力が革新を生む”

## Plastics (プラスチック) と包装資材

プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

出典：METI / 経済産業省

### 包装資材の有用性

身近に使われているプラスチック食品容器は、スーパーマーケットや食品流通にかかせません！販売を促進する商品の魅力を視覚的に伝えています。



**1**

食品を守る  
**ガードマン**



保護だけでなく品質・鮮度を保持します！



**2**

流通を支える  
**ヘルパー**



さまざまな工夫で流通・販売を支えています！



**3**

情報を伝える  
**セールスマン**

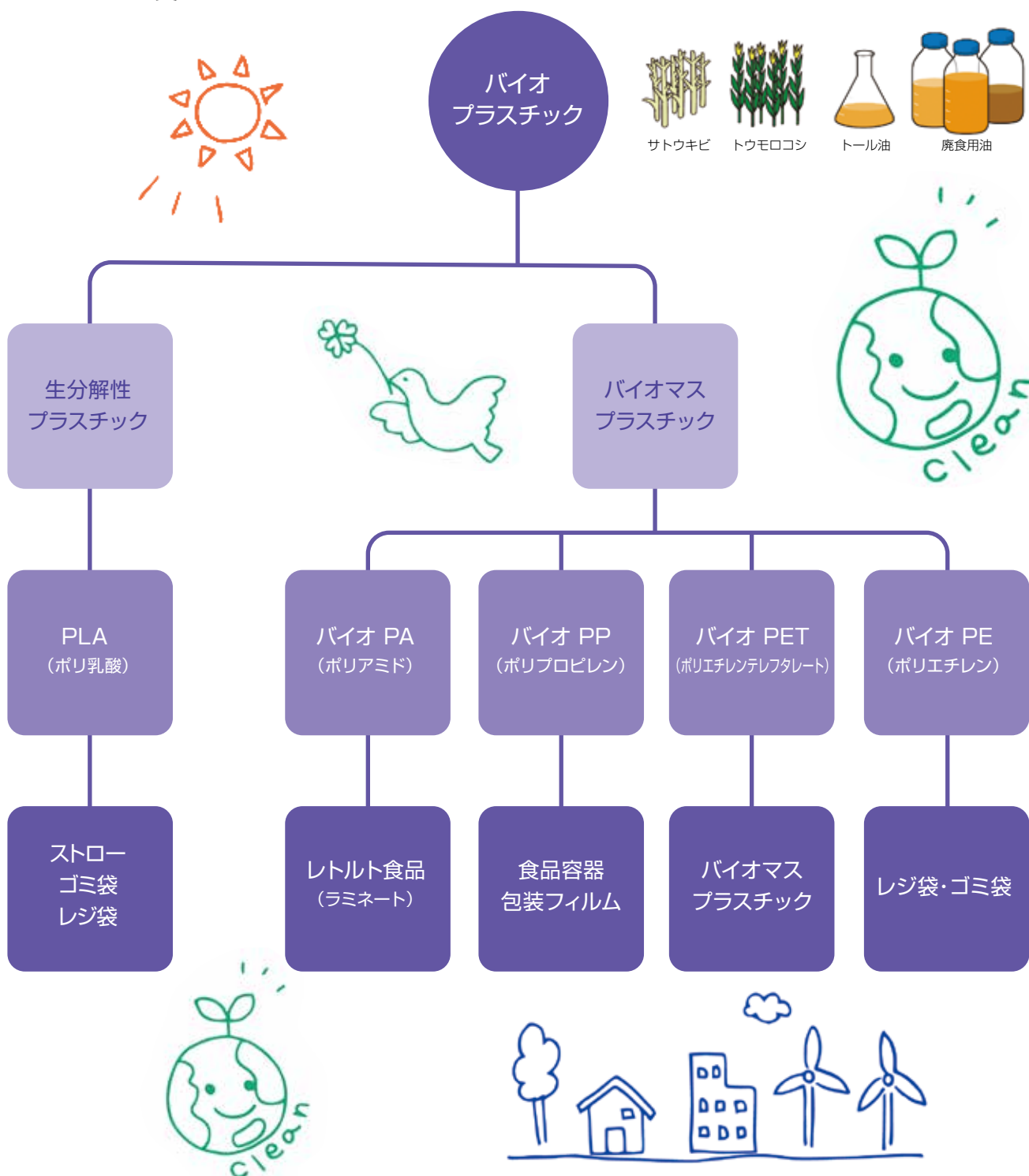


詳細な商品情報や美味しさを伝えています！

出典：日本プラスチック食品容器工業会

# 包装資材の資源循環と リサイクル先

日常の多くのシーンで活躍するプラスチックなどの資源は、全てが同じ手法でリサイクルされるわけではありません。素材の特性を考慮した上で、さまざまなものに生まれ変わっています。



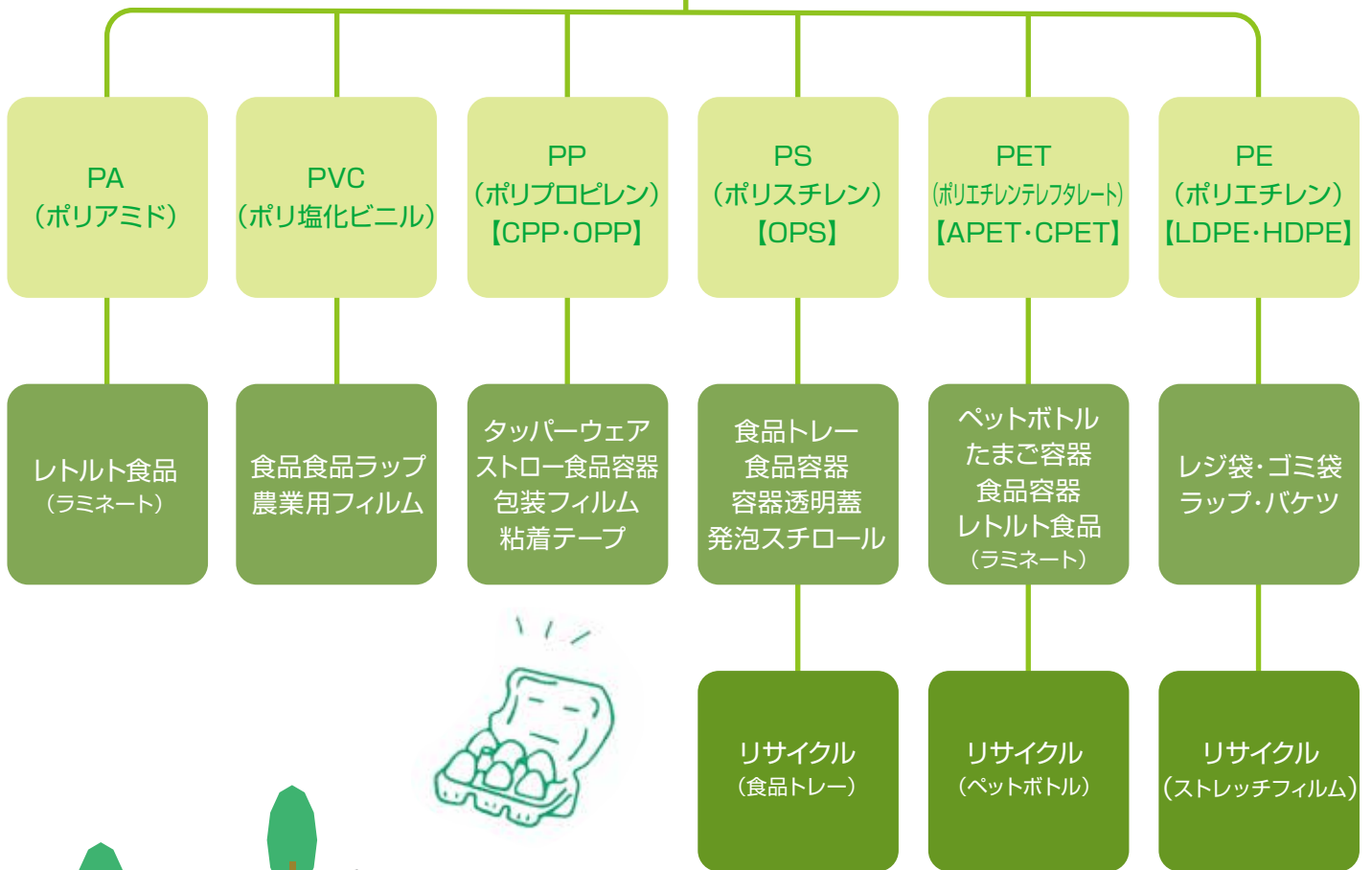


eco

## その他のプラスチック代替素材

紙（パルプ）・セルロース・木製品・  
非木製品・無機質素材  
（タルク・炭酸カルシウム）、  
食品などの単体素材、複合素材があります。

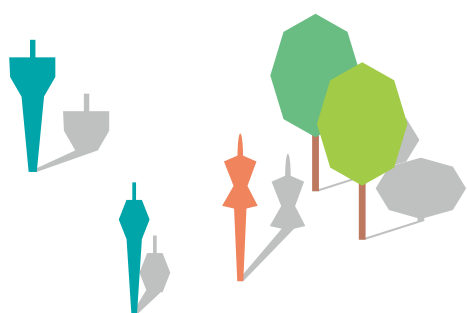
プラスチック



eco bag

## 環境配慮素材のご紹介

一口に環境にやさしい商品と言っても、その原料や素材はさまざま。オオキでは、それぞれの特性を活かした商品を数多く取り揃えています。



### Recycled plastic

#### 再生プラスチック製品

使用後のトレイ（PSポリエチレン）、ストレッチフィルム（PEポリエチレン）、飲料ボトル（PETポリエチレンテレフタレート）などのプラスチックを回収し、ペレットにすることで再利用するプラスチック製品のことです。ゴミとして焼却しないためCO<sub>2</sub>の発生が抑えられ、環境汚染の防止につながります。循環型リサイクルとして環境保護の一端を担うプラスチックであり、回収・再製品化に費用がかかるリサイクル方法でもあります。



出典：プラスチックイメージ / ウシオライティング

### Bio plastic

#### バイオプラスチック製品

##### バイオマスプラスチック

植物などの再生可能な有機資源を原料としており、石油資源を使わず、CO<sub>2</sub>を増やさない素材です。

##### 生分解性プラスチック

微生物等の働きで最終的に二酸化炭素と水に分解する素材。有機資源と化石資源の由来の原料を使用します。



出典：バイオプラスチックイメージ / 日立ハイテック

### Wood pulp

#### 木材パルプ製品

木材パルプとは紙の元となる「パルプ」の中でも、木材を原料とした素材です。木の幹の樹皮を取り除き、そのままチップ化したものに機械的・科学的、あるいは複合的な処理をして製品化にいたります。また自然界への流出が起きても微生物により分解されます。

##### 紙製品(バージンパルプ)

リサイクル資源ではなく、天然素材から生まれたバージンパルプなどを原料とした紙製品。

##### 再生紙製品

天然素材から作られたものではなく、古紙などの一度紙として使用されたものを原料とする製品です。



## Non-wood pulp

### 非木材パルプ製品



非木材パルプとは、木材以外の植物を原料とした素材です。そのため森林伐採の軽減に繋がるとされ、和紙や薄手の紙に使用されることが多いです。

#### パガス

廃棄されるサトウキビの搾りかすのこと。再利用することで廃棄ゴミの削減に貢献し、ボイラーの燃料や堆肥として活用されています。

#### バンブー(竹)

生命力が強く枯渇する心配が少ない植物です。放置による里山の崩壊問題にもアプローチが可能です。

## Wood

### 木材製品



木を材料とした製品の総称です。森林から適切な量だけを伐採し、枯らすことなく育てれば繰り返し使用できる資源です。

#### 木製品

主に木を原料とした製品。種類は多岐にわたりますが、食品容器やカトラリーは、弁当用などのテイクアウト関連に多く使用されています。

#### 経木

主にスギ、ヒノキの板を薄く削った日本伝統の包装材。1枚がかなり薄いので、森林伐採量も通常の木製品より抑えられます。

## Non-wood

### 非木材製品



竹、笹、パガス、ケナフなどの非木材植物を使用した製品です。森林伐採の軽減に繋がると同時に、植物由来の素材なので、環境流出の懸念が緩和されます。非木材植物の例として挙げられます。

#### 竹製品

竹を原料とした製品です。森林伐採がなく、成長スピードが非常に早く、農薬も使わないことから、他の木材よりも環境にやさしい素材です。竹串や竹皮を使用した食品容器などに活用され、放置竹林による里山の崩壊問題にも貢献します。

## Others

### その他製品



#### タルク製品

タルクとは、ポリプロピレンとの複合により食品容器への利用が可能な無機鉱物。プラスチック100%ではないため石油資源の節約、さらにCo2負荷も低減できます。

#### 炭酸カルシウム製品

炭酸カルシウムは石油由来樹脂と複合し、成形することで、容器トレイなどに利用が可能です。従来のプラスチック製品と比較し、燃焼時に発生するCo2が削減できます。

出典：石灰石イメージ／近藤石灰工業

# 社会生活とSDGs

「持続可能な社会のため、従来の生活を見直します」  
SDGsの目標を理解し、全社員で取り組む。



## オオキの活動紹介

家庭の食品トレーの回収 .....	33
SDGsの社内啓発 .....	34
SDGsの社内啓発（川柳）.....	35
環境保全活動の推進 .....	36
太陽光発電とLED化の推進 .....	37
幸せデザインサーベイ&ワークショップ .....	38
安全衛生委員会の取り組み .....	39
パッケージフェアでSDGsの取り組みを紹介 .....	40
富士山クリーン作戦に参加 .....	41
リサイクル施設の視察 .....	42
甲府市社会福祉協議会から感謝状 .....	43
山梨SDGsフォーラムに出展 .....	44
SDGsまなび館で常設展示 .....	45
ループリサイクルで再利用 .....	46



# 家庭の食品トレーの回収



環境問題とは切り離せないプラスチック容器を販売している我が社は、リサイクルなどさまざまな手段で環境に配慮した取り組みを行う責任があります。  
中でも食品トレーの回収は、社員の家族も参加して実施を続けています。

## 啓発ポスターを制作

キャッチコピーは「毎月10日はトレーの日」です。数字の「10」は「と+ゼロ」の語呂合わせになっています。また、発泡スチレントレー (PSP) は、2023年10月から業務用のサンプルと、家庭で回収したものとに分別して、別々の回収ボックスに入れることになりました。なお、回収したトレーはリサイクルによってどの程度 Co2 排出の抑制効果があるのか、数式で算出しています。



### 毎月10日はトレーの日



数字の「10」は「と+ゼロ」の語呂合わせ!



## トレー回収状況

### 食品トレーの回収・リサイクルによる Co2削減効果

オオキ2023年1月～2023年12月トレー回収状況

回収月	回収量 (g)	サンプル (g)	家庭 (g)
2023年1月	768		
2023年2月	4,645		
2023年3月	14,134		
2023年4月	7,620		
2023年5月	20,460		
2023年6月	9,080		
2023年7月	2,420		
2023年8月	5,460		
2023年9月	2,450		
2023年10月	7,350	2,400	4,950
2023年11月	7,010	4,500	2,510
2023年12月	4,310	1,560	2,750
合計	85,707		

回収トレー計 抑制効果 Co2排出抑制効果

$$86\text{kg} \times 4.95\text{kg} = 452.7\text{kg}$$

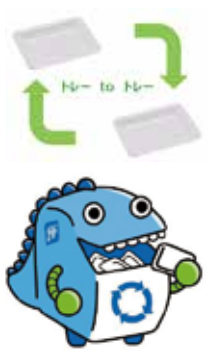
【出典】環境省 3R 原単位の算出方法

毎月平均 **35.5kg Co2削減に貢献!**

年間でトレー 約**34,982枚分**に相当

※エコFLB-A17-30 エコ (1枚重量4.9g)  
回収量合計85,707g ÷ 4.9g (1枚) × 2にて算出  
※リサイクル素材50%  
※バージン素材50%

## トレー回収状況



## 環境研究開発室

回収月	回収量 (g)
2023年1月	768
2023年2月	4,645
2023年3月	14,134
2023年4月	7,620
2023年5月	20,460
2023年6月	9,080
2023年7月	2,420
2023年8月	5,460
2023年9月	2,450

10月よりサンプルと家庭での回収を分別して集計			
	合計	サンプル	家庭
2023年10月	7,350	2,400	4,950
2023年11月	7,010	4,500	2,510
2023年12月	4,310	1,560	2,750
合計	85,707	8,460	10,210

## SDGs の社内啓発

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs と社会生活」の取り組みのなかで、社内啓発を目的としたパネルを掲示しています。

また、2023 年 12 月 4 日には、株式会社オオキの SDGs ロゴマークが決まりました。

#### 社内にパネルを掲示

社員のほか、来社されたお客様にもご覧頂けるように、商談ルームなど目につきやすい場所に貼り出しています。また、SDGs 推進隊のメンバーは持ち回りで、SDGs に関する気付きを朝礼で発表しています。



社内に掲示された啓発パネル



#### オオキの SDGs ロゴマーク

オオキの SDGs ロゴマークは、表紙に掲載していますが、デザインのコンセプトは、株式会社オオキのシンボリックな「大きな木」を中心に据えて、SDGs の 17 の目標を色と形で描いています。木の幹は、会社と関係が深い SDGs・12 番目の目標「つくる責任・つかう責任」の色を配色しています。

また、「大きな木」には、未来に向かって大きく成長する姿が投影されています。

木の実を表す円形は、SDGs の目標である残りの 16 色を使っています。木の実は「大きな木」の成長と共に、大きな「みのり」をもたらしてくれます。

Sustainable Action (サステイナブルアクション) には、「持続可能な行動」という意味があります。

検討したロゴプラン

PLAN-1



PLAN-2



決定したロゴデザイン

PLAN-3



# SDGs の社内啓発（川柳）



SDGs 川柳の募集は、SDGs 推進隊の特別企画です。  
 各部門からは 13 句の作品が集まったほか、個人では、家族も含めて  
 223 句ものエントリーがありました。  
 SDGs の川柳に応募された全作品は短冊にして、5つのボードに分けて  
 社内で順次掲示されています。

## 入賞作品（抜粋）



## 川柳は短冊にして掲示

商談ルームには川柳を短冊で掲示したボードが置かれて  
 いますので、取引先のお客様にもご覧頂けます。



目次

環境対応の歩み

オオキ SDGs 活動

エコアクション21

SDGs 活動宣言

社員が進める SDGs

包装資材と SDGs

社会生活と SDGs

## 環境保全活動の推進



株式会社オオキは、エコアクション 21 の取り組みとして、環境保全の推進を長年続けています。

### 社屋内外と河川の清掃活動

地域における環境保全活動の推進は、エコアクション 21 の環境経営方針の一環として実施しています。

株式会社オオキの取り組みは、山梨県の環境に関する企業連絡協議会において、平成 31 年（2019 年）4 月 17 日に表彰されました。



## 太陽光発電と LED 化の推進



### 始動した太陽光発電

2024年2月5日から、本社事務所屋上に設置した太陽光発電パネルで発電が始まりました（この太陽光発電は完全自家消費型です）。2024年2～4月の3ヶ月間の発電量は、9,028kwhでした。

- ①原油換算では、2,012ℓ、18ℓ灯油缶では約111缶分に相当します。
  - ②二酸化炭素削減量は、4,126kg Co2でこれは約469本の杉の木が、1年間で吸収する二酸化炭素の排出量に相当します。また、この3ヶ月間の発電量は、本社の消費電力量の37%になります。
- さらに、消費電力の削減にも力を入れており、社内のLED化を順次進めて、2023年度は会議室、ミーティングルーム等で実施しました。パッケージプラザ田富店のエアコンの入れ換えも実施しています。

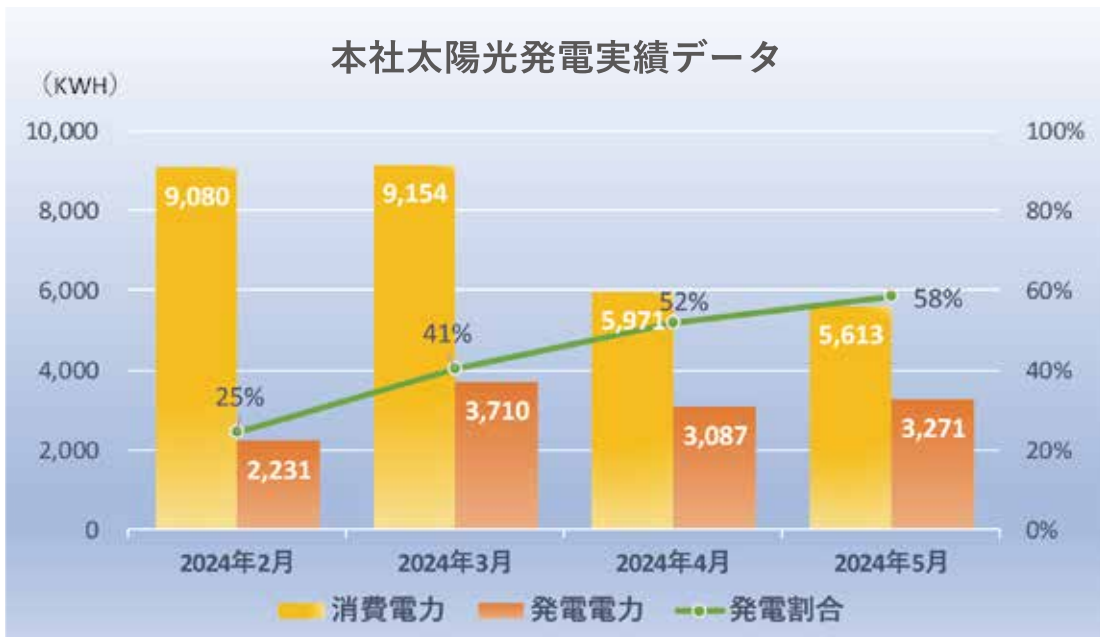


LED化した会議室



本社事務所屋上に設置した太陽光発電パネル

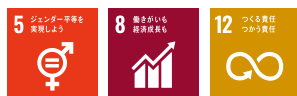
### 本社太陽光発電実績データ



※発電割合（本社の消費電力に対する太陽光発電の割合：発電電力÷消費電力）

※データはオムロン「遠隔モニタリングサービス」モニタリングサイトの数値

## 幸せデザインサーベイ & ワークショップ



商工中金の「未来デザイン室」が提供するサーベイ(アンケート調査)と、その調査結果に基づいて、社員のワークショップ(講習会)が実施されました。

### 幸せデザインサーベイとは

商工中金の説明書には、「社員のアンケート結果をベースにして、会社全体の幸せを可視化するもので、みんなが幸せに働くと、会社が持続的に成長し、会社が成長したら、みんながもっと幸せに働くことができます」と書かれています。

全社員を対象にしたこのアンケートは、スマホまたは PC で回答する方法で行われました。

アンケートを集計した結果は全社員に還元されたあと、課題を改善するための取り組みを検討するワークショップ(講習会)を開催しました。

#### インパクト

会社の持続的な成長

#### 効能

#### 幸せ経営の実現

#### 性能

会社の幸福度の数値化  
会社の現状・問題点の可視化

#### 機能

従業員の  
気持ちの可視化

商工中金の説明書転載

### 熱気溢れるワークショップ

社内ワークショップに参加した 20 名の社員は、5 名ずつ、4 つのチームに別れて課題に取り組みました。



各チームは所属する部署が異なるメンバーで編成されているため、「普段接することがない人と同じチームで話し合いができた」と話す社員や、「自分の課題を見つけた」と語る社員もいました。

また、「2 時間の講習会を短く感じた」と話す人もいて、熱気に溢れたワークショップでした。



ワークショップの会場



熱気に包まれて

## 安全衛生委員会の取り組み



安全衛生委員会とは、オオキで働く人の安全と健康を確保して、快適な職場環境を形成するために組織された委員会のことです。また、安全衛生委員会の目的は、安全衛生管理規程に基づいて「安心して働ける環境を作ること」です。2023年5月に登録した「目指そう!健康事業所」は、その一環です。

### 委員会メンバー

- 統括管理者：一條部長
- 産業医：西野内科医
- 衛生管理者：大木愛恵
- 安全管理者：村上係長／亀子マネージャー  
穂坂課長／長田係長

■ 株式会社オオキは、2023年（令和5年）5月8日、全国健康保険協会山梨支部の『目指そう!健康事業所』に登録しました。

■ これは全国健康保険協会山梨支部が行なうもので、従業員が心身ともに健康で働ける職場環境を目指す取り組みです。

■ 全国健康保険協会山梨支部のホームページによれば、このキャンペーンにエントリーしている事業所は、2023年（令和5年）7月末の時点で「805」もあるそうです。

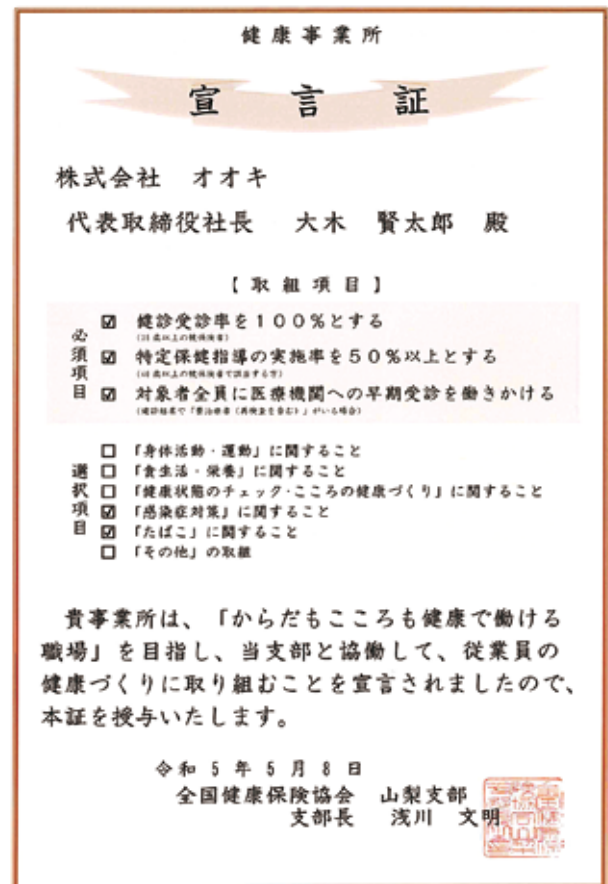
■ エントリーする取組項目の必須項目は、

- ① 受診率は100%とする（35歳以上の被保険者）。
- ② 特定保険指導の実施率50%以上とする（40歳以上の被保険者で該当する者）。
- ③ 対象者全員に医療機関の早期受診を働きかける（検診結果で「要治療者（再検査含む）の方」の3項目です）。

■ 株式会社オオキが選択項目として選んだのは、

- ① 「感染症対策」に関すること（消毒等）。
- ② 「たばこ」に関すること（分煙等）の2項目です。

## 目指そう！ 健康事業所



株式会社オオキが選択項目として選んだのは、

- ① 「感染症対策」に関すること（消毒等）
- ② 「たばこ」に関すること（分煙等）の2項目



## パッケージフェアでSDGsの取り組みを紹介



流通センターの展示会場で、2023年9月13日から14日まで開催された「オオキパッケージフェア」では、会場入口のエントランスホールに全社員が取り組んでいるSDGs活動を紹介した写真パネルやオリジナルの食品トレー回収ボックスなどを展示しました。

### 全社員が取り組む SDGs





## 富士山クリーン作戦に参加



「富士山クリーン作戦 2023」に SDGs 推進隊のメンバーが参加しました。  
 富士山 5 合目周辺の清掃に携わりましたが、実際にゴミ拾いを体験して多くの学びを得ることができました。

### 清掃活動が不要な「聖なる富士山」

世界文化遺産に登録されて今年で 10 年目を迎えた富士山は、2023 年 8 月 5 日（土）に「富士山クリーン作戦 2023」が実施されました。

公益財団法人富士山をきれいにする会が主催したこの清掃活動には、SDGs 推進隊のメンバーが参加しました。

8 月 5 日の清掃活動は、山梨県側の富士山 5 合目周辺から 6 合目で行われて、SDGs 推進隊のメンバーは富士山 5 合目周辺の清掃に携わりました。

主催者のホームページによれば、今回は 4 年ぶりに一般参加者を募集して、県内外から 43 団体と個人の約 900 名が参加。

1 時間 30 分の清掃では、合計 90kg（可燃物 50kg・不燃物 40kg）のゴミを回収したそうです。

ユネスコ世界遺産委員会が『信仰の対象と芸術の源泉』として世界文化遺産に登録された富士山は、「清掃活動が不要な聖なる山」と称賛されるまでになってほしいと願わずにはいられません。



ゴミの多くはタバコの吸殻でした。



バスの駐車場付近を重点的に清掃。



清掃中の SDGs 推進隊のメンバー



## リサイクル施設の視察



環境研究開発室のメンバーは、2023年の7月と10月に  
リサイクル施設を視察しました

### 中巨摩地区広域事業組合清掃センター

中央市一町畑の中巨摩地区広域事業組合清掃センターを視察しました。当社が出した燃えるゴミは、どのように処理されているのか。その現場を知りたいという思いからです。

得られた情報は社内で共有しています。



スプレー缶はガス抜き後に破砕

焼却炉の制御室

### 株式会社クリエート

株式会社クリエートのリサイクルセンターを視察しました。当社から回収されたコピー用紙(シュレッター紙)や空き缶などは、どのようにリサイクル処理されているのでしょうか。

視察では多くの気付きがありました。空き缶をつぶすと磁石による分別が難しくなることも、気付きのひとつです。そのため、当社では空き缶をつぶして回収するのは取りやめています。



#### コピー用紙(シュレッター紙)回収〜リサイクルによるCo2削減効果の報告

オオキ2023年4月〜2023年9月コピー用紙(シュレッター紙)回収状況

回収月	回収量(単位:g)
2023年4月	110,000
2023年5月	100,000
2023年6月	95,000
2023年7月	130,000
2023年8月	95,000
2023年8月	70,000
合計	600,000(g)

4月〜9月  
回収シュレッター紙計 抑制効果  
Co2排出抑制効果

**600kg × 0.49kg = 294.0kg**

毎月平均 **49.0kg Co2削減に貢献**



6ヶ月でコピー用紙 約150,000枚分に相当  
(1冊500枚入りが約300冊分)



圧縮されたスチール缶とアルミ缶



PPバンド

#### DPEフィルム・ビニール回収〜リサイクルによるCo2削減効果の報告

オオキ2023年4月〜2023年9月DPEフィルム・ビニール回収状況

回収月	回収量(単位:kg)
2023年4月	26.0
2023年5月	35.0
2023年6月	23.0
2023年7月	72.0
2023年8月	47.0
2023年8月	31.0
合計	233.0(kg)

4月〜9月  
回収シュレッター紙計 抑制効果  
Co2排出抑制効果

**233kg × 3.14kg = 732.62kg**

毎月平均 **122.1kg Co2削減に貢献**



6ヶ月でストレッチフィルム 約116本分に相当

## 甲府市社会福祉協議会から感謝状



株式会社オオキは、2023年（令和5年）10月26日  
社会福祉法人甲府市社会福祉協議会から、法人会員として長年にわたる地域福祉の  
向上に貢献した事に対して感謝状が授与されました。



### 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会とは

甲府市の社会福祉推進の役割を担う「甲府市社会福祉協議会」は、昭和26年に発足し、昭和38年8月に「社会福祉法人甲府市社会福祉協議会」として厚生大臣に認可（現在許認可権限は甲府市長に委譲）され、令和3年には創立70年を経過しました。

本協議会は、地域社会において自主的な福祉活動の中核となり、住民の参加する福祉活動を推進し、福祉に係る諸問題を地域社会の計画的・協働的努力によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利で、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命とする組織です。

また、本協議会の設立の趣旨に賛同する、市内に住所を有する個人（世帯）や福祉団体及び福祉施設、法人等が会員となっており、住民参加を原則としながら、行政とは異なった立場で、地域の実情に即した地域福祉活動と公共性を有する在宅福祉サービス等、地域福祉の向上に貢献するための事業を幅広く推進しています。

【ホームページの『概要（令和5年度）』から転載】

## 山梨 SDGs フォーラムに出展



### 社員向けの内覧会

2024年3月10日に開催された「山梨 SDGs フォーラム 2024」に出展しましたが、事前には担当者が展示物を説明する社員向けの内覧会を開催しました。実物の食品トレーを立体的に貼り付けたパネルで、食品トレーの素材と特徴がひと目で分かるようにしました。主催する山梨県のホームページによれば、このフォーラムは子どもから大人まで全ての皆様が、SDGsを「見て・学び・体感」し、楽しみながらSDGsや山梨県の未来を考えることができるイベントです。身近な包装資材を通してSDGsを「見て・学び・体感」する場となりそうです。



ひと目でわかりやすく



社員向けの内覧会

### 新たなリサイクル

開催当日、食品トレーのリサイクルはご存知ない方が多くて、来場者から「またトレーになるんですね、回収したトレーは捨てられるかと思っていました。」と答える人もいました。ペットボトルのキャップは、業界団体がワクチンの購入資金にする目的で小学校を通じて回収していたんですが、今は中止しています。来場者から「どこかで回収できないんですか?」と、会場で問い合わせがありました。今後は、山梨県内でペットボトルのキャップを回収して、リサイクルする仕組みが当社で作れたらと考えています。



山梨県のHPから転載



会場で応募された川柳はパッケージプラザ田富店で展示しました

# SDGsまなび館で常設展示



## 株式会社オオキの SDGs 常設展示

2024年3月22日、山梨県南都留郡富士河口湖町に世界初のSDGs観光施設として、「SDGsまなび館」がオープンしました。

ホームページには、SDGsが掲げる17の目標を学べるテーマ館と農業・林業等、様々な体験ができる【SDGs研究基地】です。またSDGsを実践する、水環境保全活動【生分解性釣具・生活用品研究所】も兼ねています。

多くの方々にSDGsを学習できる場を提供して、この輪を河口湖から世界へ広げていきますと書かれています。

また、「SDGsを推進中の企業が、現在行っている取り組みを展示して、活動を広く知らせる機会としませんか」という「SDGsまなび館」の呼び掛けに応じて、当社のSDGs推進隊が中心になり、SDGsに関連した展示物を常設展示させて頂く事になりました。包装資材を取り扱う当社は、とりわけ食品トレーのリサイクルに力を入れています。



オオキ企画コーナー

## ループリサイクルで再利用



当社は、ウォーターアトラクション用のポンチョを株式会社富士急ハイランドに納品していますが、使用後は産業廃棄物として処理されていました。

ポンチョの素材はポリエチレンですが、当社はこの素材を生かして再利用ができないかと検討を重ねた結果、川上産業株式会社の「ループリサイクル」に着目しました。「ループリサイクル」とは…、次の①から⑦までを循環させることです。



①使用後のポンチョは、川上産業株式会社の系列会社が回収します。

②回収したポンチョはリサイクル工場で、さらに純正品のポリエチレンやストレッチフィルムなどを混合します。混合させると、強度が増すからです。

③混合させたあとは、ペレット化して再生原料に戻します。

④再生原料は、巻取りフィルムにします。

⑤巻取りフィルムからリサイクルゴミ袋を製造します。

⑥出来上がったリサイクルゴミ袋(90ℓ)は、当社が川上産業株式会社から購入します。

⑦当社が株式会社富士急ハイランドに納品したリサイクルゴミ袋は、レストランや売店などで再利用して頂きます。

当社が2024年3月から納品しているリサイクルゴミ袋(90ℓ)のサイズは、横が900mm、縦が1,000mmで、厚みは0.03mmと薄くて、しかも重さに耐えて、破れないのが大きな特徴です。

また、リサイクルゴミ袋(90ℓ)、1枚あたりのCo<sub>2</sub>の削減量は「0.16kg」です。

これによってCo<sub>2</sub>の削減に貢献すると同時に、持続可能なループリサイクルの仕組みが構築できました。



ウォーターアトラクション用の「ポンチョ」

再生されたリサイクルゴミ袋90ℓ



(写真提供) 株式会社 富士急ハイランド



ループリサイクルの略図 (提供: 川上産業株式会社)

# 経営者による見直し 次年度につながる活動（テーマ）



使用したらすぐゴミになってしまう包装資材を販売している我々が、環境問題に取り組む事は責務である。

一昨年、これまでの活動をまとめたCSRレポートを作成し、新たに環境研究開発室を立上げ、「EA21の認証取得」、社員への啓発と取り組みを中心とした「社会生活の中のSDGs」、そして包装資材屋として少しでも環境に良いものへの切り替えを目指す「包装資材屋としてのSDGs」この3本の柱を中心に活動をしてまいりました。

持続可能な社会実現のために、企業として、また社員一人一人やその家族が、環境問題だけでなく、我々の住んでいる地球のため、そして未来のためにできる事を考え、行動していければと考えております。

まだまだ理想には届きませんが、これからも株式会社オオキは、広く、時には深く環境問題と共に社会課題の解決に取り組んで参ります。お客様をはじめ、ご関係いただいております多くの方にご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、CSRレポート発刊のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました

株式会社オオキ 代表取締役社長 大木賢太郎

## SDGs 推進隊

リーダー	渡邊 宣文
メンバー	笠井 年勝
	中島 大輔
	村上 祐介
	功刀 公人
	津野 雅雄
	熊野 秀樹
アドバイザー	大木 賢太郎
	小幡 光市



## エコアクション21

リーダー	一條 卓
副リーダー	矢崎 潤
メンバー	安藤 裕一
	望月 晴人
アドバイザー	大木 勝志



# オオキの未来志向

環境を価値に

## 4R



Refuse Reduce Reuse Recycle

4R(リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル)の推進



持続可能な未来の山梨へ。オオキはSDGsに取り組んでいます。



ホームページに掲載  
されています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社オオキ

〒409-3845 山梨県中央市山之神流通団地1丁目3番2号



この印刷紙には、山梨の  
森林認証材が利活用され  
ています。

OHKI CSR Report 2023